



西脇市

# 議会だより



2024.11.1

**特集**

初開催

令和6年度西脇市高校生議会



～西脇市の将来を担う、未来のリーダーが集結～



議会だよりは  
このコードからも  
ご覧いただけます。

高校生議会	2
常任委員会の活動	6
審議結果一覧	9
議会と語ろう会	10
一般質問	11
まちかどレポート	20



初開催

# ～西脇市の課題や 将来について質問～

## 西脇市高校生 議会を開催

8月8日（木）にリハーサル、8月9日（金）に高校生議会本番を開催し、15人の高校生議員による一般質問が行われました。

未来を担う高校生が模擬議会を体験することにより、主権者としての権利を理解し、政治や議会への関心を高める機会としました。また、西脇市の課題や将来について考えるを通し、西脇市への愛着と誇りを醸成することを目的としています。



西脇高等学校・西脇工業高等学校・西脇北高等学校から15人の高校生議員が選出されました。

市議会議員の拍手で迎えられて、高校生議員が入場しました。

少し緊張した面持ちですが、堂々と入場しました。

議員席に高校生議員が着席し、行政側には市議会議員が着席しました。

普段とは異なる席にそれぞれが着席し、緊張の中、高校生議会が始まりました。



7月26日 西脇工業高等学校



7月26日 西脇工業高等学校



7月30日 西脇高等学校



8月1日 西脇北高等学校



本番終了後は、緊張感が解けて、議長席に座って記念撮影♪

各高校で高校生議員と市議会議員がワークショップを行いました。プロジェクターを使って議会の仕組みや高校生議会の目的等を説明しました。ワークショップでは、高校生議員が日頃感じていることについて、市議会議員と意見交換し、高校生議員が議場で行う一般質問の通告書を作成しました。普段気づかない高校生目線の意見には、市議会議員一同改めて考えさせられる有意義な意見交換となりました。



田中 知樹議員（西脇）



浦井 彩那議員（西脇北）



大隅 光議員（西脇工）

当日は各校から選出された3人の高校生議員が議長を務めました。

# ～ 高校生議員が議場に登壇

# 市議が全力で答弁

- ①テーマ
- ②一言コメント

## 令和6年度 西脇市高校生議会 日程

- 市議会議長あいさつ
- 高等学校代表校長あいさつ
- 議長開会あいさつ (田中 知樹議員)
- 市民憲章朗唱 (辻 真琴議員)
- 日程第1 議席の指定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 一般質問 (15名)
  - (1) 草譯 純大議員 質問  
村井 正信議員 答弁
  - (2) 大隅 光議員 質問  
林 晴信議員 答弁
  - (3) 里 紫祐議員 質問  
藤原 桂造議員 答弁
  - (4) 高橋 朋花議員 質問  
岸本 年裕議員 答弁
  - (5) 谷口 陽議員 質問  
森脇 久夫議員 答弁
  - (6) 神田 琉華議員 質問  
杉本 佳隆議員 答弁
  - (7) 田中 知樹議員 質問  
東野 敏弘議員 答弁
  - (8) 辻 真琴議員 質問  
藤原 秀樹議員 答弁
  - (9) 西岡 怜音議員 質問  
藤原 哲也議員 答弁
  - (10) 藤原 遥人議員 質問  
浅田 康子議員 答弁
  - (11) 浦井 彩那議員 質問  
吉井 敏恭議員 答弁
  - (12) 犬山 勇治議員 質問  
村岡 栄紀議員 答弁
  - (13) 西垣 聖那議員 質問  
坂部 武美議員 答弁
  - (14) 吉田 悠人議員 質問  
高瀬 弘行議員 答弁
  - (15) 河合 瑞季議員 質問  
寺北 建樹議員 答弁



草譯 純大議員 (西脇)

- ①西脇市の農業の持続・発展について
- ②今回の経験を経て、大きく成長できたと思う。今後、社会に貢献していきたい。



大隅 光議員 (西脇工)

- ①神戸市と合併してバズろう
- ②このような機会を与えていただき、ありがとうございました。自分で自分を褒めたいです。



里 紫祐議員 (西脇)

- ①西脇市に温泉をつくらないのか
- ②今日の経験を生かし、これからの人生をもっとより良くしていきたい。ありがとうございました。



高橋 朋花議員 (西脇北)

- ①地域マップで安心して楽しめるまちづくりについて
- ②素敵な経験をさせていただき、ありがとうございました。



谷口 陽議員 (西脇)

- ①地域活性化につながるプリクラ設置について
- ②この機会をきっかけに、西脇がもっと良い街になると嬉しい。ありがとうございました。



神田 琉華議員 (西脇工)

- ①播州織の着物を体験できる施設を
- ②今回は、とても貴重な経験ができました。ありがとうございました。



田中 知樹議員 (西脇)

- ①加古川線の利用者数を向上させるための取組について
- ②高校生議会を経験したことで、議会の仕組みがわかり楽しかったです。



辻 真琴議員 (西脇)

- ①生徒が通学しやすいまちづくりについて
- ②人生の中でとても大きな経験ができて、すごく嬉しいです。



西岡 怜音議員 (西脇工)

- ①子育て支援について
- ②今回の経験を今後の自分の成長に生かしていきたいです。ありがとうございました。



藤原 遥人議員 (西脇)

- ①子育てしやすい西脇にするために
- ②このような素晴らしい場所で緊張しましたが、最後までできて良かったです。



浦井 彩那議員 (西脇北)

- ①高齢者のバス利用について
- ②このような場所で、自分の意見を伝えられるか、とても不安でしたが楽しくできました。



犬山 勇治議員 (西脇)

- ①空き家の活用について
- ②最初は気が乗らなかったのですが、終わってからは、すごく良い体験ができたと思っています。



西垣 聖那議員 (西脇工)

- ①西脇工業高校に投資して、運動クラブに外国人エリート選手を加入させる
- ②今回の経験は、高校生議会ではできないものだったと思います。貴重な時間をありがとうございました。



吉田 悠人議員 (西脇)

- ①へそマラソンの復活について
- ②今日は楽しかったです。



河合 瑞季議員 (西脇工)

- ①黒田庄を通るバス路線を新設してほしい
- ②貴重な機会を得ることができて良かったです。ありがとうございました。

前年度から各高校と高校生議会本番に向けた調整を行ってきました。高校生や学校関係者のみなさんには、事前の準備等、お忙しい中にも関わらず、ご協力いただいたことに感謝いたします。

高校生議員のみなさん、  
ありがとうございました。



高校生議会の会議録はこちらから→

# 常任委員会の活動

第103回9月定例会を開催しました。  
各常任委員会で議論した主な内容は、次のとおりです。

## 9月定例会 文教民生常任委員会

### 議案第51号 国民健康保険条例の一部改正

12月2日からのマイナ保険証への移行による被保険者証の廃止に伴う所要の改正

**議員** 令和6年6月現在、西脇市国民健康保険のマイナ保険証利用率は

**行政** 13.78%である、また、全国の同時期の利用率が9.9%、7月現在では11.13%である。



### 反対 高瀬 弘行

マイナ保険証の利用率は6月で9.9%、7月で11.13%に留まり、廃止予定の12月を迎えても半分の50%にも届くとは思われず、一方的に期限を切ったの保険証廃止に対して、多くの国民が「NO」を突き付けている。

### 反対 寺北 建樹

自民党の総裁選挙において、マイナ保険証について、「一度立ち止まって考えてみてはどうか」との発言がある。医療現場の状況を反映している。多くの市民のみなさんの立場に立って反対する。

**議員** マイナ保険証の利用率が伸びない中、12月2日からマイナ保険証へ移行することになるが、支障はないのか

**行政** 被保険者証とマイナンバーカードの紐づけができていない方には、資格確認証を交付し、医療機関を受診していただけることから、支障はない。

**議員** 国民健康保険の被保険者証の発行と返還について

**行政** 移行の日をもって被保険者証の新規発行は停止し、既に交付済みの被保険者証は、その有効期限である令和7年7月31日まで使用可能である。

### 賛成 村岡 栄紀

この議案は閣議決定された健康保険証とマイナンバーカードの一体化の方針に伴う所要の改正であり、反対できる余地など全くなく、一体化の是非を問う議論・討論を行う性格のものではない。

### 反対 村井 正信

議案はマイナンバーカードとの一体化によって、被保険者証が廃止されることを前提としている。マイナ保険証の利用率は1割程度で市民、国民は圧倒的にマイナ保険証ではなく、保険証を使うことを望んでいる。

**行政** この事業は国に採択された、全額国庫補助金で実施する「道路に関する新たな取組の現地実証実験」である。すでに比延地区においては移動販売を実施されているが、ボランティア運転手の高齢化に伴う担い手不足によ

り、事業の継続が危ぶまれており、その解決手段の一つとして、将来移動販売車両への自動運転技術の活用が考えられる。  
それに先立ち、県道西脇篠山線のバス停付近で移動販売実証実験を行う予定である。

### 障害者自立支援等給付事業

600万円

**議員** 増額になった理由と、給付を受ける場合の利用者負担額は

**行政** 義足を2件見込んでいることが大きな理由である。利用者負担額については、障害者総合支援法に基づき原則基準額の1割で、上限が月額3万7,200円となっている。

### 高齢者補聴器購入助成事業

175万円

**議員** 当初予算の倍を超える50人分もの増額補正となった理由は

## 決算特別委員会

### 議案第54号 一般会計

### 情報化推進事業

約1億8,600万円

**議員** 「書かない窓口」の導入効果は

**行政** 導入後の令和6年4月から8月までの該当申請者6,225人の待ち時間が約100時間削減でき、市民の負担軽減につながった。

### ファミリー・サポート・センター事業

約61万円

**議員** 本市の利用料金は、平日が400円、土日が500円であるが、近隣自治体の状況は

**行政** 他市は本市より時間当たり100円から200円程度高く、北播磨地域では本市が一番安価である。

**行政** 市や日本臨床耳鼻咽喉科医会による制度の周知や、実際に補聴器をつけられている方からの情報が大きな要因となっている。

約358万円

### 小中学校情報教育機器整備事業

**議員** タブレットの配布から4年が経過し、経年による破損や故障が多発している。本市ではタブレットの修繕について、保険ではなく、修繕費で対応しているが、仮に保険に加入していた場合の概算額は

**行政** あくまで個人加入の場合での想定であるが、一人当たりの保険料2,020円に生徒数をかけると約600万円となる。



### 地産地消推進事業

約3,270万円

**議員** 開館時間の変更をしたが、北はりま旬菜館の運営への影響は

**行政** 令和5年11月から令和6年8月までの10か月間の実績と一昨年の同時期との比較では、来客数が5,724人、売上額が約577万円増加した。

### 観光振興事業

約1,181万円

**議員** 観光ガイドの育成セミナーの内容と成果は

**行政** 基礎知識や観光資源に関する講座のほか、実地研修として「播州織」をテーマに繊維工業技術センター等で研修を行った。成果として、4人が、NPO法人北はりま田園空間博物館のボランティアガイドに登録された。

## 予算常任委員会

### 議案第52号 一般会計補正予算

### 道路空間活用実証実験事業

390万円

**議員** 本事業の目的や内容はどのようなものか

## 土地利用計画事業

約470万円

**議員** 土地利用計画の進捗状況は

**行政** 区域区分の見直しに関しては、令和5年度に方針を決定する予定であったが、地域の意見を伺いながら土地利用の方針を決定していく必要があることや、市民への周知を行うため6年度に先送りした。来年2月開催予定の都市計画審議会で答申を得て、判断したい。

## 課外教育活動振興事業

約359万円

**議員** 部活動の地域移行に関し、令和5年度に予定していたコーディネーターの採用が1年遅れたことによるスケジュールへの影響はないのか

**行政** 影響については判断しにくいですが、現段階では当初の予定通り、休日の地域移行に関し、令和9年度を目標に取り組んでいく。

## 議案第55号 国民健康保険特別会計

約665万円

### 人間ドック助成事業

**議員** 約7億8,000万円の国民健康保険財政調整基金があるが、基金を活用して、加入者に対し、人間ドック等の助成額の引上げや人間ドックと脳ドックの併用など、制度の拡充を行う考えはないのか

**行政** 昨年度、基金を幅広く保健事業に活用できるように条例改正をしたところであり、今後も助成拡充の検討は必要である。なお、県内保険料水準の統一に合わせた市町が担う事務の標準化に向けての協議状況等を勘案しながら検討していく。

21億8,727万円

## 一般会計 歳入（固定資産税）

**議員** 近隣市に比べ固定資産税が少ない理由は

**行政** 近隣市より大手の企業や事業所が少ないためではないかと考える。

**議員** 税収を増やすためには、多くの企業を誘致することが重要であると考えているが、市の見解は

**行政** 企業立地の効果としては、直接的に雇用の創出や税収増が見込まれる。新たな企業の進出により法人市民税が増加し、また、市内の既存企業の増設や拡張により固定資産税の増収につながると考える。企業誘致や起業支援にも引き続き取り組んでいく。

### 賛成 村岡 栄紀

基金の役割は国民健康保険の財政を安定させることであり、反対者が唱える基金の活用方法とは合致せず、また、地域医療への協力といった観点からウエルネスポイントに差が出るのはやむを得ない。

### 反対 村井 正信

今回の決算額では、歳入歳出差引額後で8,200万円を財政調整基金に積み立てている。値上げしなくても十分運営できた内容である。物価高で苦しんでいる市民が多い中、保険料率を引き上げるべきではなかった。

### 反対 高瀬 弘行

今回の決算では約1億6,000万円の剰余金が生じ、新たに8,200万円を基金に積み立てた。結果的に保険料を引上げ、国保加入者から必要以上の保険料を徴収し、物価高騰などで苦しむ市民に過大な負担を強いている。

### 賛成 森脇 久夫

マイナポイント制度を活用した施策実施により、特定健診の受診率向上が見られ、結果につながった。今後も「健幸都市・にしわき」を推進するため、更なる受診率向上の取組推進を要望し、本議案に賛成する。

## 議案第59号 介護保険特別会計

**議員** 介護人材不足解消に向けての取組は

**行政** 初任者研修や実務研修の費用助成のほか、令和6年度からは基礎的な研修である「介護に関する入門的研修」を実施しており、受講者から新たに2人が就業を希望された。

**議員** 訪問介護の基本報酬の引き下げに伴う市内事業所への影響は

**行政** 令和5年度の同時期と比較すると、利用者数が増加しているにも関わらず、給付費が減少しており、事業所からは非常に厳しい経営状態であるという意見を聴いている。報酬改定は国の決定によるものであるが、市としても支援の方法がないか検討していきたい。

# 議案に賛成か!反対か!一目で分かる審議結果

## 9月定例会議案審議結果一覧 ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案第52号	令和6年度一般会計補正予算(第4号)
議案第53号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第54号	令和5年度一般会計歳入歳出決算の報告について
議案第56号	令和5年度立学校給食センター特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第57号	令和5年度老人保健施設特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第58号	令和5年度公営墓地特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第59号	令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第60号	令和5年度茜が丘宅地供給事業特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第61号	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第62号	令和5年度太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第63号	令和5年度水道事業会計決算の報告について
議案第64号	令和5年度下水道事業会計決算の報告について
議案第65号	令和5年度病院事業会計決算の報告について



議案の詳細はこちら

## ●賛否の分かれた議案 (○・・・賛成 ×・・・反対)

議案番号	議案名	藤原秀樹	岸本年裕	藤原哲也	杉本佳隆	森脇久夫	藤原桂造	高瀬弘行	吉井敏恭	村岡栄紀	高瀬洋	東野敏弘	坂部武美	浅田康子	村井正信	林晴信	寺北建樹
議案第51号	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	×	○	×
議案第55号	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の報告について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	長	○	○	○	×	○	×

(\*議案名はわかりやすい表現に変えています。議長は議事進行のため採決には加わりませんが、賛否同数の場合は議長も賛否の表明をします。)

## 10月臨時会議案審議結果一覧 ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案第66号	令和6年度一般会計補正予算(第5号)



議案の詳細はこちら

## 令和6年度 議会と語ろう会



7月26日 合山町・鹿野町  
 7月27日 寺内  
 8月2日 黒田庄地区子育てグループ  
 8月22日 オンライン議会と語ろう会  
 8月23日 黒田庄大伏・しばざくらフルール  
 8月31日 市原町

### テーマ 『消滅可能性自治体からの脱却』

#### 消滅可能性自治体って？

- ・20～39歳の若年女性人口が、2020年から2050年までの30年間で半減すると予測される市区町村を人口戦略会議が「消滅可能性自治体」と規定しています。
- ・西脇市は若年女性人口が50.3%減少するとの予測（近隣では加西市と多可町も消滅可能性自治体に）



#### 参加者のご意見から

- ・小規模クラスでの学校があるので、結婚を機に転居してきたが、学校統合により、なくなってしまうので残念。特に小規模特認校をなくすのは、市の財産をなくすことと同じ。
- ・子育て支援は他市の後追いばかりで、新鮮味がなく、西脇市に住むメリットを感じない。
- ・古民家・空き家への移住促進を進めるべき。市街化調整区域をなくし、住宅地の増加と安価な土地の購入を支援すべき。市外から人を呼び込む施策をもっと展開すべき。
- ・企業の用地確保も良いが、西脇市に住み、加西や加東で勤務できるような住宅の整備を行うべきではないか。若者が移住できる環境、例えば高速ネット環境の整備、若者向け住宅など。
- ・女性に焦点を当てた施策を展開してはどうか。例えば、不妊治療費に対して全額負担や、通院時の交通費、通院等での休業賃金補償など。思い切ったことをやらないと歯止めはかからない。
- ・コンパクトシティや立地適正化計画などで、「まちなか」における施策があるのはわかるが、「まちそと」に関してはどのように考えているのかと思う。そこをないがしろにすると、子どもたちも帰ってこないし、私たちは見捨てられているかのように感じる。
- ・男性中心なところが地域にあり、生きにくさを感じる。都市部は近所の目を気にしないで暮らせる。今が変化の過渡期にあるように思うが、違うモノサシを持たないと変わっていけないように思う。
- ・移住定住を進めるためには、西脇市の良さ・取組を特化してPRする必要がある。SDGsの取り組みを含め、環境にやさしい西脇市を目指したらどうか。
- ・そもそも「消滅可能性自治体」について、住民に聞くのではなく、議員としてどう考えているのか。

ご参加ありがとうございました

## ここが聞きたい!

# 一般質問



一般質問は、議員個人が自身の考えのもとに提案や課題を行政に投げかけ、市の見解を市長や教育長、部長から聞き、政策討論をする重要な場です。今回は、12人が市民生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

#### テーマは自由

質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めることができます。

#### 制限時間は60分

1人あたりの制限時間は、市長等からの答弁も含めて60分以内です。

#### ホームページにも掲載

質問項目を事前にホームページに掲載。傍聴者にも配布しています。



録画配信  
はこちら

## 空き家を「貸す」ことへの可能性と提案

村岡 栄紀



**問** リフォームされていない昭和の戸建てでも、家賃が安ければ借り手があるのではないかと、また、古着好き世代などは、むしろ積極的に古い家を選び愛着を持って住むようになる可能性があるのではないかと。

**答** 空き家バンクの利用者には、賃貸を希望される方も多いため、建築経過年数に関わらず家賃が安ければ借りて頂ける可能性があります。しかし、物件登録状況は、売り物件が158件に対し、賃貸物

件が16件と圧倒的に少ないため、賃貸物件を確保していくことが課題になってくると考えている。

**問** 空き家を「まずは貸す」からスタートし、次の展開を考えるという発想に転換すれば、敷居が低く動きやすくなるのではないかと。

**答** 空き家バンクに賃貸物件の登録が少ない状況であり、リフォーム代や賃貸後のトラブル対応等への不安から賃貸ではなく、売却を希望される方が多いのが現状である。しかし、空き家の活用拡大を図っていくために、空き家所有者に対し賃貸の啓発を進めていくことも検討していきたい。

**問** 立地適正化計画における居住誘導区域内の空き家、空地の活用を推進すること、そして、この取組に対して市から応援をすることが最も効果的だと考えるが。

**答** 居住誘導区域内の空き家が流通しやすくなるよう、また、利用しやすくなるような新たな制度を検討するなど、引き続き、空き家を地域の資産と捉え、流通促進、活用拡大の取組を進めていきたい。



増え続ける空き家



## 小中学校体育館にエアコン設置を求める

東野 敏弘

録画配信  
はこちら



**問** 西脇市は全国最高気温を示した日が3日間もあり、熱中症で救急搬送されたのは、7・8月に53件もあった。屋外での熱中症対策であるクーリングシェルターが、現在3か所しかなく、市内8地区には最低1か所は必要ではないか。

**答** ドウジアム、オリナス、Miraiは、職員が常駐し、比較的規模が大きい。土日も含め開館していることから、本年度に入りクーリングシェルターの指定を行った。国の基準や市内の公共施設の配置状況を踏まえながら、今後、施設の追加の検討を進めていきたい。

**問** 近年の異常気象を考えると、線状降水帯が発生し予期せぬ大災害が起こる可能性がある。そうした大災害が起こった際、活用できる避難所を増やすべきではないか。

**答** 指定避難所や補助避難所のほか、市内では比較的規模の大きい施設である西脇商工会議所や西脇ロイヤルホテルと、「災害時における避難所開設に関する覚書・協定書」を締結し、大規模災害

が発生した際にはご協力いただくことを想定している。

**問** 小中学校では、異常な暑さで屋外での活動ができにくく体育館での活動が増えてきている。児童生徒の教育上の観点を考えると、体育館にエアコンが必要だと考える。また、学校の体育館は指定避難所になっている。台風等の災害が起こりやすい暑い季節に活用される避難所には、エアコンが必要ではないか。

**答** 現状において、学校施設には空調を有する諸室があるので、避難場所としてそれらの諸室を活用して対応することを考えている。



エアコンの設置が望まれる市内小中学校体育館



## 西脇市の教育環境の改善に向けて

藤原 桂造

録画配信  
はこちら



**問** 本市における学校統合プロセスは、近隣他市町に比べてスタートするのも遅く、遅れているとの印象があるが、行政としての認識は。

**答** 計画上のスケジュールにおいては、遅延しているという認識はないが、活用する学校施設が決定していないことや両校区において様々なご意見をいただいている現状であり、教育委員会事務局としては、活用する学校施設の決定に努力するとともに、決定後には、速やかに開校準備を進めていきたい。

**問** 学校統合に関する検討会議が約2年間行われ、その後7回の懇談会が実施されたが、判断基準の不明瞭さや対話不足の指摘がある中で、懇談会の成果としてどのような進展が見られるのか。

**答** グループワークでの意見交換や発表等により、両校の現状整理や見える化、意見整理が行われたことや、統合懇談会内で行ったアンケート結果や委員のご意見なども、懇談会の成果物と考えている。また、これらの成果物と、現在、集計中の地

域意向調査の結果についても、活用する学校施設の協議に際し、各教育委員の判断に役立つものと考えている。

**問** 学校統合に関する判断材料として、どういった項目を重要視しているのか。

**答** 教育委員会の意思決定は、構成員の合議によって決定していくので、評価の基準やウエイトなどもその議論の中で出てくるものであり、事前に判断基準を提示することは困難である。活用する学校施設の決定に当たっては、どのような協議過程を経て決定されたか等について、透明性を十分に確保していきたい。



両校を同じ視点で評価・検討し、総合的な判断による決定を



録画配信  
はこちら

## 第2期日本のへそ農業ビジョンと人材育成

森脇 久夫



**問** 第2期農業ビジョンの特徴は

**答** 第1期農業ビジョンでは、本市農産物の消費流通拡大や6次産業化の推進に重点を置いた。第2期農業ビジョンでは、第1期の視点を踏まえつつ、農産物の生産維持に重点を置いた取組、地域の特性を生かした持続可能な農業の実現に向けた方向性を示している。10項目の指標を設定しているが、要点としては2つの方向性がある。1つは10年後も現在の農業生産額約24億円を維持するため、ブランド農産物の栽培面積や、和牛の肥育頭数などの指標を設定している。2つ目は、農業生産維持のための指標として認定農業者数や担い手への農地集約面積等を設定している。



農業を支える人材の育成・確保

**問** 農業ビジョンにおける人材育成は

**答** 第2期農業ビジョン策定にあたり実施した農家へのアンケート等の回答では、「後継者のめどが無い」や「経営規模の縮小や離農する」など、担い手不足の深刻化が顕著であった。地域農業を維持していくためには、農業を支える人材の育成、確保が大きな課題であると改めて実感する中で、「育てよう」という戦略を新たに設定した。

**問** 営農組合の法人化に対する考えは

**答** 集落営農組織では、構成員の高齢化が進み、活動が困難になっている組織も出てきている。組織を維持していくためには、組織の法人化が必要。加えて、集落営農組織間の連携による作業補完体制の構築や機械の共同利用などの取組、将来的には広域的な営農組織の設立も必要と考えている。将来の組織のあり方や、法人化に向けての支援を検討していきたい。



録画配信  
はこちら

## IT技術を活用したスマート農業の推進

杉本 佳隆



**問** 基幹的農業従事者の全国平均年齢は、68.7歳であるが、高齢化により70歳以上が全体の半数以上の58.7%を占めている。本市においても70歳以上の従事者が全体の64.5%を占めている。この年代は、今後20年で引退することが予想されており、基幹的農業従事者の8割が減ることになる。そのため、基幹的農業従事者の激減対策に早急に取り組まなければならない。水稻生育の負担が大きい水の管理について、用排水路をパイプラインで構築してIT技術を使い、自動給水栓の導入に向けた取組を提案する。



センチピートグラスの活用で草刈りの抑制

**答** 用排水路のパイプライン化、監視制御システムの整備は、非常に有効な手段であるが、大規模な土地改良事業が必要で、整備コストが高額になる。一方で、簡易な水管理システムが開発されており、田んぼにセンサーを設置し、水位や水温などを測定し、スマートフォンと連動することで、水の管理に係る作業時間の大幅な削減が見込まれている。これらの水の管理システムの導入にあたっては、国や県のスマート化推進事業や市の機械助成の活用が可能となっている。

**問** あぜの草刈りの負担が大きい。多年草で密度が高く、雑草が侵入しづらいセンチピートグラスを活用して、草刈りの抑制、特に法面等の草刈は、ラジコン草刈り機の導入で省力化が図れると思うが。

**答** センチピートグラスとラジコン草刈り機の導入に関しては、作業の省力化という面では有効な手段だと思うが、導入費用が高額である。負担軽減として、多面的機能支払交付金や市の機械助成の活用が可能である。



## バス公共交通の利便性向上に向けて

岸本 年裕

録画配信  
はこちら



**問** 人口減少対策として、公共交通の利便性向上が重要であると考えている。西脇市ではバス便の減少により、通勤・通学の利用者からは、早朝や夜間の便が少なくなり不便だという声が上がっている。バスの増便や西脇市役所～社間のダイヤ復活、野村バス停やアピカのバス停を利用する通勤・通学者向けの駐車場の整備、パークアンドライドの拡充等が必要であると考えているか。

**答** 市は関係市町と協調して、路線バスの維持確保対策補助金を事業者に交付するなどの、路線維持に向けた支援や、事業者や関係市町と協議を行い、事業者の自主運行から国庫補助金の対象路線になるよう、令和5年度から三宮直通便を社営業所どまりに変更し、乗り継ぎ便とするなどの対応を行っている。また、駐車場に関しては、不足している状況でないため、現時点では、新たな整備は考えていない。今後、利用促進を進める中で、パークアンドライドとしての駐車場利用に対する補助制度の創設など、必要に応じて検討していく。

**問** バス便減少は市外転出や地域経済の縮小を招き、「消滅可能性自治体」からの脱却を妨げている。コロナ前のバス便数の回復に向けた、具体的な対策はあるのか。

**答** 利用客が一定数あればバスのダイヤを充実させることも可能だが、これまで利用実態に応じ減便されてきた事実がある。今後も引き続き、利用促進を進めるとともに、事業者や関係市町との協議を行い、路線の維持に努めていく。



バス公共交通のダイヤ復活



## 若者や子育て世代にとって魅力ある西脇市に

藤原 秀樹

録画配信  
はこちら



**問** 丹波・但馬・北播磨地域などの若者が来られる可能性がある24時間営業の総合ディスカウントストアを、旧西脇市役所等跡地に誘致してはどうか。

**答** 旧庁舎等跡地における企業誘致の方針としては、「事業所、研究所などを誘致する方向で進める。ただし、社会情勢等を考慮し、令和6年度末で再検討とする。」こととしており、引き続き用地情報の提供や企業ニーズの把握に努めているところであるため、現時点では、総合ディスカウントストアの誘致は考えていないが、若者層をターゲットにした総合ディスカウントストアのニーズも踏まえながら、今後も引き続き、企業誘致の方針、市場調査の結果及び地域住民のニーズを考慮し、当該土地の利用について考えていく。

**問** 本市の将来を担う若者や子育て世代を増やすことが最大の高齢者対策だと思うが。魅力ある商業施設の誘致についてどのように考えているのか。

**答** 若者や子育て世代に人気の商業施設については、定住・外部誘客の観点から地域の活性化につながるかと考えるが、交通アクセスや市場規模、競合他社の立地動向など、本市への進出には、集客面や採算面からの経営判断が前提となるため、各事業者が市民ニーズなどを調査された上で、希望があれば考慮していくことになる。また、全国展開されるチェーン店だけでなく、本市の特徴を生かした店舗の誘導とにぎわいの創出も期待しており、さまざまな角度からまちの活性化に向けて取り組んでいきたい。



旧市役所等跡地利用



録画配信  
はこちら

## 西脇市役所に障害者枠の採用試験を

坂部 武美



**問** 昭和35年の障害者雇用促進法の制定によって、地方公共団体の法定雇用率が定められ、現在2.8%と認識するが、現状の雇用率、雇人数、正職員、会計年度職員人数の内訳、障害別人数は。また、雇用されている障害者は障害者枠として募集したのか。

**答** 現状の雇用率は、市長部局で2.69%、教育委員会部局で2.89%である。また、雇人数は、令和6年6月1日時点で、正規職員が3人、会計年度任用職員が16人で、合計19人である。障害者別人数は、身体が15人、知的が2人、精神が2人



企業や市役所には障害者の法定雇用率が定められている。西脇市役所の障害者枠の職員採用試験を実施すべき

である。通常の募集は、ハローワークを通じての募集であるが、過去に一度、就職説明会に参加して、障害者の方に絞って職員募集をしたことがある。それ以外は、採用時又は採用後に障害者手帳を保有されていることが分かったケースである。

**問** 正職員数が少ないと考える。障害者枠の職員採用試験を実施している自治体もある。障害者のみなさんも、公務員になりたいと思われる方がおられる。なぜなら、長期雇用で安定しているから。障害の程度によって、どのような職種を募集するのか、介助が必要であるのか、職場環境の改善が必要となるのかなど、課題もあげられるが、障害者枠の職員採用試験を実施すべきと考えるか。

**答** 現状の課題は、様々な障害特性に合わせた試験方法の構築と、業務内容のマッチングだと考えている。今後は、雇用率や職場環境整備の進捗状況なども勘案し、他の自治体の事例などを参考にしながら、障害のある方に限定した採用試験の研究を進めていく。



録画配信  
はこちら

## 高齢者等へのごみ出し支援策の実施を求める

高瀬 弘行



**問** 昨年の6月議会で、「高齢者等に対するごみ出し支援策」を求めたところ「今後、検討が必要な課題と認識している」との答弁があったが、この間の進捗状況は。

**答** 環境部局、福祉部局及びごみ収集を担当する西脇多可行政事務組合との三者による検討会において、戸別収集及び拠点回収等における課題を抽出するとともに、ごみ出し支援の対象者の要件及び対象者の把握方法等について検討を行っているが、収集を行う人員の確保収集に要するコスト面から、多くの課題があることを共有している。その中で、「コミュニティ支援型」の構築について、



高齢者等のごみ出しに支援策を！

要介護者の見守り活動の視点からも検討する必要があると考えている。

**問** 「コミュニティ支援型」とは、具体的にはどのような組織で、運営主体等はどこになるのかを問う。

**答** 地方公共団体から補助金等の支援を受けて活動する自治会やNPO等が実施主体として想定される。

**問** 介護の現場からは「曜日がわからない、ごみの分別ができない等の認知症関連の利用者が増えてきている。ヘルパーさんは、免許を持たれた方なので、ごみ出しだけで、行ってもらうのはもったいないと思う。とにかくヘルパーさんの数が圧倒的に不足している。」等の声があるが、高齢者等のごみ出し支援策として「コミュニティ支援型」が運用される時期は。

**答** ごみ出しに苦慮されている高齢者等がいる現状と、支援の必要性は感じているため、早く結論を出せるようにしていく。



## 不登校状態の児童生徒への支援の充実を

村井 正信

録画配信  
はこちら



**問** 「不登校の相談体制についてスクールカウンセラーに相談したが、1か月程度様子を見ようと言われた後、様子を見るだけで何の変化もない。学校と保護者とのつながりを継続する体制を作り、保護者の孤立感を払拭する体制を進めてほしい。」との保護者の声があるが。

**答** 不登校及び不登校傾向の児童生徒の保護者への支援については、各学校の学級担任や児童支援教員等で構成する「不登校対策チーム」による支援やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談、さらには、青少年センターで実施している教育相談などがある。今後も、保護者支援の様々な窓口を整備して、推進していきたい。

**問** 「校内サポートルーム」では、別室に行っても教えてくれる人がおらず、学力がつかないとの保護者の声を聞いている。市費で教職員を担任として配置し一人も取り残さない教育をする必要があると考えるが。

**答** 教員を随時配置することは、教職員定数から考えて、大変厳しい状況である。今後、学級担任以外の教員が増加すれば、校内フリースクールに近い体制についても検討していけるのではないかと考えている。

**問** 子どもが自信を持てるような取組を願っているが、現状は絶対評価のため、努力しても通知簿は1とのこと。個々の子どもの努力を正に評価できるようなシステムを検討すべきではないか。

**答** 評価の数字の背景にある内訳を、三者懇談等で保護者や子どもに説明している。子どもの成長を伝えていけるように、再度学校にも周知していきたい。



校内サポートルームに担任の先生を

録画配信  
はこちら



## ハラスメント根絶に向けて

林 晴信

**問** 総務省の調査表によれば、西脇市役所はハラスメントに対する取組が、兵庫県でも低いレベルである。数年に渡り総務省から何度も指示されながら、未だに改善されていない。なぜこんなことになるのか。今後どうしていこうとしているのか。

**答** ハラスメント対策では、特に、カスタマーハラスメントに係る取組について対応が遅れている。今後、働きやすい職場環境作りや人材確保の観点からも早急に対応していくとともに、他の自治体を参考にしながら、取組状況の発信方法についても検討していく。また、国から発出される通知等に対し適時適切に対応できるよう、決裁時の情報共有方法の見直しや、DXを活用した決裁方法の研究なども進めていきたい。

**問** ハラスメントに対する実態把握と効果的な防止策、抑止策を講じるためにも、まずは全職員レベルでのアンケートの実施と専門家等外部によるコンサルティングを提案するが、市長はどう考えるか。

**答** 外部専門家によるコンサルティングについては、様々な事例を参考にしながら、その効果について研究していきたい。また、全職員を対象にしたアンケートについては、実施に向けて担当課が検討を進めている。なお、アンケートの実施に当たっても、できるだけ回答側、集計側、双方に負担がかからないよう、デジタル技術を活用した手法の導入について、指示している。



厚生労働省 NOハラスメント



録画配信  
はこちら

## 「日本のへそ」で地域の活性化を

浅田 康子



**問** 「日本のへそ」は西脇市の地理的特性であり、大切な地域資源である。「日本のへそ」をどのように位置づけし、生かしていくのか。

**答** 先人たちの努力により、全国的な知名度を誇るようになった「日本のへそ」という地理的特性は、今後も本市の地域活性化に生かしていくべき大切な地域資源の一つであると捉えている。西脇市最大の花火まつりである「日本のへそ西脇夏まつり」をはじめ、「日本のへそ」を冠にした各種



唯一無二の地域資源「日本のへそ」

イベントの開催や、全国のへそ・中心を名乗る市町村で結成している「全国へそのまち協議会」での交流、全国から西脇市を応援していただく『ふるさと西脇「日本のへそ」寄附金』、また「日本のへそゴマ」など、“へそ”をテーマにした様々なまちづくりの展開などを通じ、日本のへその存在を知ってもらうとともに、SNS等で情報を発信してもらえるように進めていきたいと考えている。

**問** 唯一無二の地域資源である「日本のへそ」を今後どのように活用していくのか。

**答** どんな地域にも由緒ある地域資源があるが、それをいかにうまく展開していくか、いかにまちの自己主張を個性的で感動あるものにしていくかという発想が必要だと考えている。本市における「日本のへそ」についても、そのような視点に立ち、他の市町にはない独自の貴重な地域資源として、また本市の認知度を上げる大事なコンテンツとして、「日本のへそのまち」を積極的に発信していきたい。

## 委員会 活動レポート

### 議会DX調査小委員会 行政視察（長野県塩尻市・兵庫県淡路市）

議会のデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性や、導入による効果についての理解を深め、西脇市議会のDXを推進することを目的に、7月19日に長野県塩尻市、8月22日に兵庫県淡路市に行政視察し、現状を調査しました。

**○塩尻市**  
議会DXの推進により、塩尻市議会がどのように変わったのか、その活用状況と導入効果について説明を受けました。その後、現在導入中のデジタルツールに関する詳細なプレゼンテーションと、議会運営の効率化や市民とのコミュニケーションの強化を図るための、具体的な導入例の紹介がありました。

議員各自の役割において、DXを今後どのように活用していくのかを考え、活発な質疑応答が行われたことで、DX推進の意欲がより一層に高まりました。

**○淡路市**  
議会DXの実際の体験を行い、デジタルツールを利用した議会運営の様子を観察し、現場での利便性や市民とのやり取りの向上を実感しました。

**今後の予定**  
11月8日に、兵庫県議会の議会DX導入状況を視察する予定です。この視察を通じて、他自治体の取組を参考にし、さらなる発展を目指していきます。



総務産業常任委員会 行政視察 (香川県坂出市・愛媛県西条市)

西脇市では、市街化調整区域の区域区分の取扱いが課題になっており、総務産業常任委員会の所管事務調査として取り組むことにしました。

そこで、20年前に区域区分の廃止を決定した香川県坂出市と愛媛県西条市を7月10日～11日に行政視察し、現状を調査しました。両市とも線引き廃止前は、住宅建築の規制が厳しく、調整区域内の集落の過疎化と高齢化により、一戸建てを建てる土地が少ないため他市への転出が著しく多いという傾向にありました。

<区域区分廃止後の現状>

○坂出市

- ・地域により土地の価格差がでてきた。
- ・市街化区域の農地の固定資産税が減少した。
- ・旧市街化調整区域に家屋建築が進んだ。
- ・全国的な人口減の中でも人口減少のスピードが緩やかになった。
- ・旧市街化調整区域にメイン道路ができたことにより新しい町並みが現れてきた。

○西条市

- ・商業系、住居系、工業系の地域全てで開発許可件数及び新築建物確認件数が増加した。
- ・固定資産税の調定額は、平成16年度は101億3,774万円であったが平成17年度は98億6,260万円、平成18年度は94億9,908万円と下降傾向になった。
- ・家屋が建てやすくなったことにより、市民の他市への転出は一定数抑えられたが、市街化区域の空洞化が新たな課題となった。



西条市▶



◀坂出市

文教民生常任委員会 西脇市保育協会と課題懇談会を開催

西脇市保育協会からは伊達会長はじめ認定こども園の園長と文教民生常任委員会からは、8名の委員が参加しました。伊達会長から、令和7年度西脇市就学前教育・保育関係予算に対する要望書の概要説明がありました。

- 市内こども園給与規定統一に伴う、職員給与の激変緩和対策について  
(令和7年度から給与規定統一の運用に向けて作業を進めていくことになる。人件費の増額となる園負担の補助を要望)
- こども園における各システムの統一化に向けて  
(会計標準システム、栄養計算システム、保育管理システムの8園統一に係る費用の補助を要望)
- 職員の人材確保と定着のために
- カウンセラー事業への支援

- 物価高騰に対する支援
- 補助金事業における積算基準の引上げ
- 多機能化の取組への支援
- 市内こども園給与規定統一後に発生する給与表の改定作業について

以上、8項目の要望や支援への説明がありました。その後、認定こども園の運営について、園児の安心安全な園での暮らしについて、また、就学前教育・保育に必要な支援等多岐にわたる意見交換を行いました。



ようこそ！西脇市議会へ



三重県いなべ市 議会運営委員会  
議会運営の取組について



豊岡市 議会広報広聴特別委員会  
広報広聴活動について



加西市 会派「令和新風加西」  
西脇市乗合タクシー「むすブン」について



加東市 総務文教常任委員会  
地域公共交通について

全国から多くの議会のみなさんにお越しいただき、ありがたい限りです。これからも互いに情報交換を行いながら、切磋琢磨してまいります。

第104回臨時会を開催しました。

10月2日(水)、第104回臨時会を開会し、兵庫県知事選挙執行のための補正予算案を全会一致で可決しました。

兵庫県知事選挙は、11月17日(日)に行われます。

Facebookで情報発信中！

フェイスブックでも市議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。



フェイスブックはこのコードからご覧いただけます。

本会議、委員会等はインターネット中継(ライブ・録画)でもご覧いただけます。



ライブ中継(本会議)はこちら



ライブ中継(委員会等)はこちら

12月の定例会

日	月	火	水	木	金	土			
11/24	25	26	27	28	29	30			
12/1	10:00 第105回 定例会 (第1日)	2	3	4	5	10:00 第105回 定例会 (第2日)			
8	9:30 総務産業 常任委員会	9	9:30 文教民生 常任委員会	10	9:30 予算 常任委員会	11	12	13	14
15	16	17	18	10:00 第105回 定例会 (第3日)	19	10:00 第105回 定例会 (第4日)	20	21	
22	23 予備日	24	25	26	27	28			
29	30	31	1/1	2	3	4			

上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

# まちがどしレポート

@西脇市高田井町

2021年12月にオープンしたワッフル  
が自慢のログハウスカフェ  
営業時間：10：00～17：00  
定休日：火曜日



開放感のあるログハウスで、ゆったりとした雰囲気を

## Cafe Little (カフェ リトル)

オーナーの藤本光太さん



情報満載のInstagram登録はこちら→

西脇市高田井町の矢筈山登山口にあるログハウス「Cafe Little (カフェリトル)」。木の温もりあふれる心地よい空間で、ゆったりとした時間を過ごせます。

### Q：この場所にオープンされた理由は。

私は三木市出身で、神戸でお店をしていましたが、良い場所を探していて、不動産屋さんの紹介で西脇市に来ました。床から天井、壁も全てが木で造られたログハウス。入口すぐにある据え付けの薪ストーブが気に入りました。矢筈山のふもとからの見晴らしも良く、ここに決めました。

### Q：店名の由来は。

「リトル」には若いや小さいの意味があります。

23歳でカフェを開く夢を叶え、今から大きくなるようにとの思いを込めて「リトル」としました。お店を大きくする夢に挑戦中です。



ゆったりとした落ち着いた雰囲気の店内です。

### Q：おすすめのメニューは。

おすすめが2つあります。1つはハンバーグをメインに3種の小鉢の内容が変わる月替わりランチ。もう1つは、元気いっぱいの鶏たちが産んだ「鉄人の卵」をふんだんに使用したワッフルです。

### Q：今後どのような活動をされる予定ですか。

西脇市の人々の温かさに触れました。もっともっと多くの人から愛される店になりたいと思っています。矢筈山登山者にトイレを提供しています。多くの登山者から感謝いただいています。市内にはカレーのお店がたくさんありますが「リトル」でも、カレーのバリエーションを広げていきたいと考えています。

### Q：議会や議員に一言。

「議会だより」に取り上げていただいたことに感謝しています。



## 発行 西脇市議会

〒677-8511 西脇市下戸田128番地の1  
Tel：0795-22-3111 〓：gikai@city.nishiwaki.lg.jp

●発行責任者 西脇市議会 議長 高瀬 洋

●編集／広報広聴特別委員会

委員長	吉井 敏恭	副委員長	高瀬 弘行
委員	岸本 年裕	委員	杉本 佳隆
//	村岡 栄紀	//	浅田 康子
//	村井 正信	//	林 晴信